学部 / 人間科学領域 / 社会の理解
科目コード：110210

保健医療福祉論 Law of Health, Medicine and Welfare

担当教員	南 陸男				
実務経験					
開講年次	2年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	医療と法律、保健と法律、福祉と法律				
学習目的・目標	この講義では、保健、医療、福祉に関連した関係法規と制度の基礎知識や基礎 理論について学習する。 看護学生は、医療サービスの内容や技術について学ぶことも大切であるが、これらのサービスは、法律によって根拠づけられ、規制されているということの重要さと必要性を理解すること。				

授業計画・内容

回	内容
1	1．医療・保健・福祉の概念と法体系
2-4	2．医療関係法規等 医療法、医療計画、病院機能報告制度、地域医療構想、保健師助産師看護師法
5-11	3．保健関係法規等 ・地域保健法、健康増進法 ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）、特定感染症指針、 新型インフルエンザ特別措置法、感染症サーベランス体制、予防接種法 ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、母子保健法、母胎保護法、 がん対策推進基本計画、がん登録の推進に関する法律、肝炎対策基本法 学校保健安全法
12-14	4．社会福祉、社会保険関係法規等 社会福祉法、児童福祉法、老人福祉法、障害者総合支援法､介護保険法、高齢者の医療の確保に関する法律
15	まとめ

教科書	授業は資料、スライド等を使って進めます。
参考図書等	森山幹夫著「看護関係法令（最新版）」（医学書院） 「国民衛生の動向（最新版）」（厚生労働統計協会） 「国民福祉と介護の動向」（厚生労働統計協会）
評価指標	記述試験により評価（９０％）。受講態度（１０％）も考慮する。
関連科目	法と社会、社会福祉論
教員から学生へのメッセージ	医療は医療分野にとどまらず、福祉・介護、保健、生活衛生分野等と密接に関わっています。これらの法制度と関連施策を理解することで、皆さんが将来活躍する場、仕事を社会的な観点から理解して下さい。